

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134032109	進路指導論（キャリア教育を含む。）	山田陽平		教職	2	選択	3前期

**科目の概要**

進路指導は、生徒が自ら将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように教員が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。本科目では、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。  
DP2「ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付けて、地域再生に貢献することができる。」およびDP3「自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。」を備えた家庭科教員となるためにも、この科目に真摯に向き合ってほしい。

学修内容	到達目標
① 進路指導・キャリア教育（職業教育含む）の歴史の変遷を学ぶ。 ② キャリア教育に関する二つの答申の内容を学ぶ。 ③ 各教科・総合的な学習／探究の時間・特別活動におけるキャリア教育の実践を学ぶ。 ④ 各キャリア教育実践をつなぐ「要」としての特別活動の在り方を学ぶ。 ⑤ キャリア教育を推進するための組織の構成員とその役割を学ぶ。 ⑥ 家庭・地域・関係機関と連携したキャリア教育の事例を学ぶ。 ⑦ 職業に関する体験活動（特に職場体験・インターンシップ）の進め方を学ぶ。 ⑧ 小学校から高等学校までの系統的なキャリア教育のためのキャリア・パスポートの実際の使用例を学ぶ。 ⑨ キャリア・カウンセリングに関する理論を学ぶ。 ⑩ キャリア・カウンセリングの理論に基づいた実践の在り方を学ぶ。	① 進路指導・キャリア教育（職業教育含む）の歴史の変遷を四つの時代区分に沿って説明できる。 ② キャリア教育に関する二つの答申の内容（ねらい、方針）を対比して説明できる。 ③ 各教科・総合的な学習／探究の時間・特別活動におけるキャリア教育の実践を例示できる。 ④ 各キャリア教育実践をつなぐ「要」としての特別活動の在り方を例示することができる。 ⑤ キャリア教育を推進するための組織の構成員とその役割を列記することができる。 ⑥ 家庭・地域・関係機関と連携したキャリア教育の事例を挙げ、利点と課題を述べることができる。 ⑦ 職業に関する体験活動（特に職場体験・インターンシップ）の進め方・課題と改善策を説明することができる。 ⑧ 小学校から高等学校までの系統的なキャリア教育のためのキャリア・パスポートの実際の使用例を挙げることができる。 ⑨ キャリア・カウンセリングに関する理論を4つ説明することができる。 ⑩ キャリア・カウンセリングの理論に基づいた実践の在り方を例示することができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分の経験と関係づけたり、自分なりの例を作って考えている。
	働きかけ力	
	実行力	他者と協力して互いの理解を深め合うことを意識して行動している。
考え抜く力	課題発見力	わからないところを把握している。
	計画力	
	創造力	わからないことでも他に調べたり仮説を立てたりして考えを深めている。
チームで働く力	発信力	互いに意見を言いやすくなるように工夫して発言・コメントしている。
	傾聴力	他者の意見を聴いて反応している。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	期限までに課題を提出した。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト（1）：『キャリア教育』はじめて学ぶ教職19 藤田晃之（編）ミネルヴァ書房 2018年  
 テキスト（2）：『中学校・高等学校キャリア教育の手引き』文部科学省 2023年 文部科学省のホームページからPDFをダウンロードすることができるので書籍版の購入は必須としない。必要な場合は書籍版を自分で購入してください。 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/career/detail/mext\\_00010.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/mext_00010.html)  
 参考資料：『新版キャリアの心理学 [第2版]』渡辺三枝子（編）ナカニシヤ出版 2018年  
 オープンエデュケーション：独立行政法人教職員支援機構「校内研修シリーズ」 <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/>

**他科目との関連、資格との関連**

「進路指導論」は教職課程の「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に位置づけられる。以前に学習した「教育心理学」の発達に関する知識が活用できる。「生徒指導論」や「教育相談」のカウンセリングの知識が活用できる。「教育実習A/B」では進路指導・キャリア教育の実践を見聞かして実践的な知識に昇華させてほしい。「教職実践演習」の基盤となる科目である。中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得するために履修する必要がある。

学修上の助言	受講生とのルール
テキストの内容に従ってすすめます。テキストを読むことを基本とします。テキストに直接書き込んだり、図式化したりすることで理解しやすくなります。	すべての課題は授業期間中に実施します。定期試験はありません。課題を実施するときに欠席した場合は評価点が与えられないので注意してください。シラバスに記載の順ですすめますが、順番等に変更がある場合は1週間前までにクラスルームを通して連絡します。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①	⑥		
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
	平常評価	小テスト	20	①	⑥	知識の獲得は、テキストに記載の教育用語やキャリア教育に関する概念の理解と記憶を確認する。テキスト各章のExerciseも含む。20%
				②	⑦	
				③	⑧	
				④	⑨	
				⑤	⑩	
		レポート	5	①	⑥	各回の授業で課す予復習課題 5%
				②	⑦	
				③	⑧	
				④	⑨	
				⑤	⑩	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	65	①	⑥	知識活用は、学習したキャリア教育の概念や事例を分類、区別、関係づけることができるかを確認する。20% 解決課題としてのパフォーマンステスト3回（45%） 指定された問題に対して、受講者同士で討論している様子を録画・録音し、その自然な議論の中での回答を評価する。 テスト1（30%）：「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（2011年の在り方答申）」以降、現在まで、どのようなキャリア教育が行われているのか、指定された資料を学習して報告・討論する。 テスト2（10%）：キャリアに関する考え方・理論を学び、教師として生徒のキャリア形成を支援するアイデアを考えることができる。指定された人物のキャリア論を報告する。この人の考え方を生徒のキャリア支援に使うとしたら、どのような場面でどのように使えるだろうか。 テスト3（5%）：キャリア教育について勉強したことをふまえて「問い」をつくる。自分が作った問いの解を考えたり、調べたり、掘り下げたりして、キャリア教育についての考えを深める。問いをもっとよい問いにブラッシュアップする。		
		②	⑦			
		③	⑧			
		④	⑨			
		⑤	⑩			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	⑥	以下の七つの観点それぞれに対して、授業中の態度や提出物で評価する。 主体性：自分の経験と関係づけたり、自分なりの例を作って考えている。 実行力：他者と協力して互いの理解を深め合うことを意識して行動している。 課題発見力：わからないところを把握している。 創造力：わからないことでも他に調べたり仮説を立てたりして考えを深めている。 発信力：互いに意見を言いやすくなるように工夫して発言・コメントしている。 傾聴力：他者の意見を聴いて反応している。 規律性：期限までに課題を提出した。	
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S評価：平常評価において9割以上の得点率 A評価：平常評価において8割以上の得点率	B評価：平常評価において7割以上の得点率 C評価：平常評価において6割以上の得点率

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション：何ができるようになるか(学習目標)、何を学ぶか(学習内容)、どのように学ぶか(学習方法)、教職課程における本授業の位置づけを説明する。	講義	講義内容を聞き、復習課題を提出した。	予習：次回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第1章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す、3) わからなかったところを書き写す。復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤と解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	進路指導・キャリア教育の歴史(1)：職業指導から進路指導への展開	講義	職業指導から進路指導への歴史的変遷を説明できる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第2章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す、3) わからなかったところを書き写す。復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤と解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	進路指導・キャリア教育の歴史(2)：受験戦争と進学指導	講義	進学指導はキャリア教育とは言い難いことを説明できる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第3章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す、3) わからなかったところを書き写す。復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤と解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	進路指導・キャリア教育の歴史(3)：キャリア教育 接続答申1999年	講義	接続答申1999年のキャリア教育に関する内容を説明できる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第4章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す、3) わからなかったところを書き写す。復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤と解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	進路指導・キャリア教育の歴史(4)：キャリア教育 在り方答申2011年	講義	在り方答申2011年の内容を説明できる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第5章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力、2) 大事だと思ったところを書き写す、3) わからなかったところを書き写す。復習：自分の理解を確認する。(60分)：Googleフォームの確認クイズを実施する。正誤と解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	キャリア教育の歴史を年表としてまとめる。知識の活用をみる。	演習、討論	進路指導・キャリア教育(職業教育含む)の歴史的変遷を四つの時代区分に沿って説明できる。進路指導とキャリア教育が混同されている問題を説明できる。キャリア教育に関する二つの答申の内容(ねらい、方針)を対比して説明できる。	予習：キャリア教育の歴史を年表としてまとめる。(120分)：手書きまたはMiroなどで時間軸を設定して年表にする。復習：年表を修正して完成させ、クラスルームへ提出する。(60分)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(2011年の在り方答申)」以降、現在まで、どのようなキャリア教育が行われているのか、指定された資料を学習して報告・討論する。ジグソー学習。担当資料ごとに集まり知識を共有するエキスパート活動を行う。	演習、討論	指定された資料を学習して報告・討論することができる。	予習：指定された資料を学習して他者への説明に使える資料を作る。(180分) 復習：資料を追記・修正する。(60分)	240	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	パフォーマンステスト(1)前半：「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(2011年の在り方答申)」以降、現在まで、どのようなキャリア教育が行われているのか、指定された資料を学習して報告・討論する。ジグソー学習。グループで集まり、各自の知識を持ち寄って提示された問いに回答する。	演習、討論	各教科・総合的な学習/探究の時間・特別活動におけるキャリア教育の実践を例示できる。各キャリア教育実践をつなぐ「要」としての特別活動の在り方を例示することができるキャリア教育を推進するための組織の構成員とその役割を列記することができる。家庭・地域・関係機関と連携したキャリア教育の事例を挙げ、利点と課題を述べることができる。職業に関する体験活動(特に職場体験・インターンシップ)の進め方・課題と改善策を説明することができる。小学校から高等学校までの系統的なキャリア教育のためのキャリア・パスポートの実際の使用例を挙げることができる。	予習：指定された資料を学習して他者への説明に使える資料を作る。(180分) 復習：資料を追記・修正する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	パフォーマンステスト (1) 後半：「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について (2011年の在り方答申)」以降、現在まで、どのようなキャリア教育が行われているのか、指定された資料を学習して報告・討論する。ジグソー学習。グループで集まり、各自の知識を持ち寄って提示された問いに回答する。	演習, 討論	各教科・総合的な学習/探究の時間・特別活動におけるキャリア教育の実践を例示できる。各キャリア教育実践をつなぐ「要」としての特別活動の在り方を例示することができるキャリア教育を推進するための組織の構成員とその役割を列記することができる。家庭・地域・関係機関と連携したキャリア教育の事例を挙げ、利点と課題を述べることができる。職業に関する体験活動(特に職場体験・インターンシップ)の進め方・課題と改善策を説明することができる。小学校から高等学校までの系統的なキャリア教育のためのキャリア・パスポートの実際の使用例を挙げることができる。	予習：指定された資料を学習して他者への説明に使える資料を作る。(180分) 復習：資料を追記・修正する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	キャリア教育実践を支える基礎理論	講義	キャリア教育実践を支える基礎理論を説明できる。	予習：次回の学習範囲を予習する。(120分)：テキスト第6章に目を通して、次の3点をクラスルームへ提出する。1) キーワードの入力, 2) 大事だと思ったところを書き写す, 3) わからなかったところを書き写す。 復習：自分の理解を確認する。(60分)：グループフォームの確認クイズを実施する。正誤&解説フィードバックを自動的に配信するので理解できていないところを読み直す。確認クイズは成績評価の対象ではなく自己学習のために利用してください。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	キャリアに関する考え方や理論を学び、教師として生徒のキャリア形成を支援するアイデアを考える。ジグソー学習。担当資料ごとに集まり知識を共有するエキスパート活動を行う。	演習, 討論	指定された資料を学習して報告・討論することができる。	予習：指定された資料を学習して他者への説明に使える資料を作る。(180分) 復習：資料を追記・修正する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	パフォーマンステスト (2)：キャリアに関する考え方や理論を学び、教師として生徒のキャリア形成を支援するアイデアを考える。ジグソー学習。グループで集まり、各自の知識を持ち寄って提示された問いに回答する。	演習, 討論	キャリア・カウンセリングに関する理論を4つ説明することができる。キャリア・カウンセリングの理論に基づいた実践の在り方を例示することができる。	予習：指定された資料を学習して他者への説明に使える資料を作る。(180分) 復習：資料を追記・修正する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	知識の獲得を確認するテスト：テキストに記載の教育用語やキャリア教育に関する概念の理解と記憶を確認する。テキスト各章のExerciseも含む。	小テスト	小テストの正答率が80%以上である。	予習：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(180分) 復習：小テストで間違えたところ、討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	パフォーマンステスト (3)：キャリア教育について勉強したことをふまえて「問い」を一つ作る。自分が作った問いの解を考えたり、調べたり、掘り下げたりして、キャリア教育についての考えを深める。	演習, 討論	キャリア教育について勉強したことをふまえて「問い」を一つ作る。自分が作った問いの解を考えたり、調べたり、掘り下げたりして、キャリア教育についての考えを深めることができる。	予習：自分の問いの答えを根拠を調べて考え、資料にまとめる。(180分) 復習：討論の内容をまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	240	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	授業のまとめ・補足・フィードバック	授業の実施方法：オンデマンド配信	授業を通して学べたこと、学びきれていないことをまとめることができる。	事前：これまでに学習した内容(テキストやノート)を見なおして復習する。(60分) 事後：配信動画の視聴をふまえて、授業を通して学べたこと、学びきれていないことをまとめてクラスルームへ提出する。(60分)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力